

1、常任理事から

- ・岡田先生より
研究してきたことを伝えられるように。

2、平林先生より

- ・研究報告について議論していきたい。

3、森山先生より

- ・一人一人の子供が見出す学習課題に順序性はないとご指導あり。
- ・①→③になるにつれて、学習が深まっている状態。
- ・単元の最初から、③の児童もいるのでは。
- ・①②③の子へのそれぞれの支援を考えていきたい。
- ・①②③のそれぞれをどう捉え、実践されているのか。

4、世取山先生より

第一時、学習課題1の捉えは？

学習課題2についてはネット型の特性に応じた学習課題。

学習課題3は作戦に関する学習課題。

Q. 稲田先生

②と③の違いは？

A. 若林先生…②は個人、③はチーム

- ・チーム内、ゲーム内でも学習課題第一から様々？

A. 堀川先生…発達段階、既習の段階により、学習課題①～③の持ち方は変わるだろうが、①が多い気がする。

若林先生…実践からも、既習事項によって大きく変わる。

河原先生…魅力的な教材であれば、やりたい気持ちをもつのは当然であり、①が多いと思う。

A. 入来先生…これまでの既習経験によって学習課題は高まる？→それは3つの資質ではなく、知識・技能による？

- ・単元の前後半で学習課題は変わる？何が既習ならどう変わっていく？

5、報告①

大久保先生…②と③の違い→ゲーム理解とチーム理解

河原先生…学習課題には4段階あるのではないかと。①は楽しそう②できるようにになりたい③できるようにするためにこうしてみよう！④仲間との連携

稲田先生…②と③のどちらの学習課題なのかは、見とることは難しい。可能にするにはより具体的に問う必要がある。

若林先生…②と③は明確に分けられるものではない。記述的には学習課題③なのに、実際は③なのか？

森山先生…②と③の違いは他者理解があるかどうか。

共通認識として

- ・チームで学習課題(めあて)は設定せず、個々の学習課題(めあて)をチームで解決していく。チームの課題はあるが、学習課題はない。

6、報告②

入来先生…ゲーム理解とチーム理解の違いについて。教師の見とり方が大事。

河原先生…学習カードでの見とりは語彙力の問題があるけど、見とる必要がある。

吉田先生…学習の入り口は、学習課題①～③様々ではないか。

大久保先生…学習課題③がゴールではない。

7、事務連絡

平林先生より

- ・研究報告の参加、不参加の意思表示をお願いします。
- ・次回の部会参加もお願いします。

8、最後に

井上先生より

- ・様々な意見を交えることでよい考えが生まれる。